

情報教育コーディネーター通信

柏崎市教育情報支援システム <http://kedu.kenet.ed.jp/>

第33号 2006/1/26 発行
 情報教育コーディネーター 田村 実
 柏崎市立教育センター
 TEL 23-4591 FAX 23-4610
 tamura@itec-map.co.jp

今号のコンテンツ

| | |
|--------------|----------------------|
| 特集 | 教育の情報化の推進のための緊急メッセージ |
| セキュリティ通信 | セキュリティホール情報 |
| 教育情報支援システム通信 | 新規教材等の紹介 |

特集＜教育の情報化の推進のための緊急メッセージ＞

1. 文部科学大臣名で出された「教育の情報化のための緊急メッセージ」

昨年12月6日に文部科学大臣名で次のような「教育の情報化のための緊急メッセージ」が出されました。

このほど、緊急に文部科学省で行った、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」について、平成17年9月末時点の結果がまとまりました。

今年度はe-Japan戦略の最終年度ですが、教育の情報化に関する目標達成は極めて厳しい状況となっています。

整備主体である各地方公共団体におかれては、目標達成に向け、ラストスパートをかけていただくようお願いいたします。

同時に、文部科学省としても、「教育の情報化の推進のためのアクションプラン」を策定し、総務省等関係各省とも連携しつつ、e-Japan戦略の目標達成に向けた取組みを「加速化」していくこととしています。

情報化への対応は、今後の日本の発展を支える重要な課題であり、世界最高水準のICT国家を支える「人づくり」を担う文部科学大臣として、e-Japan戦略に掲げられた目標の達成、及び次期ICT戦略に向けて我が省に期待される役割をしっかりと実現できるよう、「教育の情報化」に一層努めてまいります。

http://www.mext.go.jp/b_menu/soshiki/daijin/kosaka/05120801.htm

このメッセージは、今年度e-Japan戦略の最終年でありながら目標達成が厳しい状況が明らかとなったため、改めて各地方自治体にラストスパートをかけるよう依頼するとともに、次のような「教育の情報化の推進のためのアクションプラン」を策定し、教育の情報化を加速させようというものです。

-教育の情報化推進のためのアクションプラン-

| | H17.12 | H18.1 | H18.2 | H18.3 |
|----------------------------|----------------------------|-------|------------|--------|
| 1. 大臣を先頭とした地方公共団体への直接の働きかけ | → 中間調査結果の公表 都道府県への通知 | | | |
| | → 都道府県への働きかけ(整備率の低い県等を重点に) | | | |
| 2. 「教育の情報化強化月間」の実施 | | | | → 強化月間 |
| 3. IT効果普及促進キャンペーン(仮称)の実施 | → 実施計画の策定 | | → キャンペーン実施 | |
| 4. 情報化推進事例集(仮称)の作成・配布 | → 事例集の作成 | | → 配布 | |

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/05120802.htm

このプランは、

平成 17 年 9 月末時点の整備状況調査の結果を明らかにするとともに、今後更に整備率の低い都道府県及び市町村に重点を置いて、大臣を先頭に直接働きかけを行い、目標の達成に向けた取組みの強化を促す。

平成 18 年 3 月を「教育の情報化強化月間」として定め、ネットディを開催するなど教育の情報化の一層の推進を図る。

IT を活用した授業についての理解の促進を図るため、情報担当の指導主事や教員、教員を目指す学生等を対象とした模擬授業等のキャンペーンを実施する。

教育の情報化に関する効果的な実践事例を取りまとめ、その成果を普及することにより、地方公共団体の取組みを強く促す。

というものであり、機器の整備とともに、「情報活用能力の育成」の一層の充実、IT の活用による「わかる授業」や「魅力ある授業」の実現を強く促すものと考えられます。

柏崎市においては、比較的早い時期から、校内 LAN を含む機器・環境の整備、教育情報支援システムの提供、教育センターを中心とした研修、様々なコンテンツの提供など、多方面から「教育の情報化」に取り組んできました(柏崎市の機器・環境整備についてはコーディネーター通信第 15 号、第 28 号をご覧ください)。しかし、「情報活用能力の育成」や「IT の活用」という面では、まだまだ改善の余地があるというのが現状です。今回の緊急メッセージを受け、特別な授業として準備をしなくても、日常の授業や活動の中で、情報活用能力の育成を意識するとともに、「わかる授業」「魅力ある授業」のために IT が活用できないかということを改めて意識していただければと思います。

2. 知っておきたい国の施策

e-Japan 戦略

「e-Japan 戦略」とは平成 13 年 1 月 22 日に高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部から出されたもので、「我が国は、21 世紀を迎え、すべての国民が情報通信技術(IT)を積極的に活用し、かつその恩恵を最大限に享受できる知識創発型社会の実現に向けて、既存の制度、慣行、権益にしばられず、早急に革命的かつ現実的な対応を行わなければならない。」として、「超高速インターネット網の整備とインターネット常時接続の早期実現、電子商取引ルールの整備、電子政府の実現、新時代に向けた人材育成等を通じて、市場原理に基づき民間が最大限に活力を発揮できる環境を整備し、我が国が5年以内に世界最先端の IT 国家となることを目指す。」ための戦略として作成されたものです。

教育に関係するものとしては、4つの重点政策分野の内、「4. 人材育成の強化」の中の「推進すべき方策」の一つとして、

1. 情報リテラシーの向上

- ア) ミレニアムプロジェクト「教育の情報化」を早期に達成し、小中高等学校のインターネット接続の環境を整備し、IT を利用した教育を可能にする。また、図書館公民館等の公共施設にインターネット接続可能な環境を整備するとともに、教育用コンテンツの充実を図る。
- イ) IT を使った授業や IT の倫理・マナー教育を充実する。インターネット時代にますます重要となる英語教育を充実させるとともに、数学や理科などの科目を重視して論理的思考力を育てる。同時に、自己表現能力を培い、創造力の涵養に努める。
- ウ) 学校単位でインターネットを活用した国内外の他地域の学校との交流を促進し、異なる文化・立場を持つ人々とも協働できるような人材を育てる。

と記述されています。

ミレニアムプロジェクト「教育の情報化」

「ミレニアムプロジェクト」とは小淵元首相が立ち上げた経済新生対策の中に含まれている重点施策であり、政府が戦略的・重点的に取り組むプロジェクトを、各分野におけるテーマ毎に示したものです。その中の重点施策の一つが「教育の情報化」であり、教育の情報化を通じて「子どもたちが変わる」「授業が変わる」「学校が変わる」という状況を目指し、次のような施策が明示されました(抜粋)。

【公立学校のコンピュータ整備・インターネット接続 等】

- ・2001年度までに、全ての公立小中高等学校、盲・ろう・養護学校等(約39,000校)がインターネットに接続できるようにする。
- ・2005年度を目標に、全ての公立小中高等学校等が、各学級の授業においてコンピュータを活用できる環境の整備を行えるようにする。 [平成17年度に5.4人/台]

【公立学校の校内LANの整備】

- ・2004年度を目標に、公立小中高等学校等が、校内ネットワーク(LAN)機能の整備を行えるようにする。

【教員研修の実施】

- ・2001年度までに、すべての公立学校教員(約90万人)がコンピュータの活用能力を身につけられるようにする。

【学校教育用コンテンツの開発】

- ・2005年度までに、学習資源を活用した学校教育用コンテンツの開発、成果の普及を図る。

【教育情報ナショナルセンター機能の整備】

- ・2005年度を目標に、全国的な視野から教育の情報化を推進する教育情報ナショナルセンター機能の整備を目指す。

< セキュリティ通信 >

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、1月6日付けで緊急の更新として、1月11日付けで1月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。今回の更新は危険度が「緊急」(今すぐインストールしてください)レベルのものを含んでおり、既にその脆弱性(Webサイトを閲覧するだけで危険なプログラムが実行されてしまう可能性がある)を悪用するプログラムも存在するとの情報があります。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急WindowsUpdateを実施していただくようお願いします。

(1)MS06-001 : Windows の重要な更新(緊急)

Graphics Rendering Engine の脆弱性によりコードが実行される可能性がある (912919)

対象 : Windows2000, XP, 2003Server

(2)MS06-002 : Windows の重要な更新(緊急)

埋め込み Web フォントの脆弱性により、リモートでコードが実行される (908519)

対象 : Windows98, 98SE, Me, 2000, XP, 2003Server

(3)MS06-003 : Outlook および Exchange の重要な更新(緊急)

Microsoft Outlook および Microsoft Exchange の TNEF デコードの脆弱性により、

リモートでコードが実行される (902412)

対象 : Outlook2000, 2002, 2003, Exchange Server 5.0, 5.5, Exchange 2000Server

(この更新は、個人のPCでOutlookを使用している場合のみOfficeのアップデートから行ってください)

< 教育情報支援システム通信 >

こんな情報が登録されています

・講習会テキスト

| | |
|---------------------------|---|
| <p>デジタルビデオ編集入門</p> | <p>1/6 実施のセンター研修「デジタルビデオ編集入門」のテキスト(第2版)を登録しました。 DVカメラからの動画の取り込み コンピュータ上での編集 DVカメラへの出力やDVDの作成を中心に、WindowsXPSP2に標準で用意されている「ムービーメーカー2」を使って編集を行います。「デジタルビデオ編集作業手順」として作業の大まかな流れを示したドキュメントも併せて登録してあります。</p> |
| <p>周辺機器活用の指導法</p> | <p>1/17 実施のセンター研修「周辺機器活用の指導法」のテキスト(第1版)を登録しました。 デジタルカメラやイメージスキャナの活用を中心に扱っています。</p> |

・共用キャビネット

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>平成17年度県外研修の報告</p> | <p>共用キャビネットの「教育委員会」「H17 県外研修視察報告」フォルダに今年度の県外研修視察報告の一部を登録しました。</p> |
| <p>名簿管理サンプル</p> | <p>利用者からのご要望により、在校生の兄弟関係欄を自動的にセットするマクロを追加した Excel のブック「名簿管理サンプル兄弟関係処理有.xls」と、既存の名簿データをそちらに移行する手順を解説した文書「名簿管理兄弟関係対応説明書.doc」を、共用キャビネットの「学校事務」「学籍」「名簿管理」に登録しました。 従来のサンプルもそのまま置いてありますので、必要に応じてご利用下さい。</p> |

その他

インフルエンザ様疾患発生状況マップについて

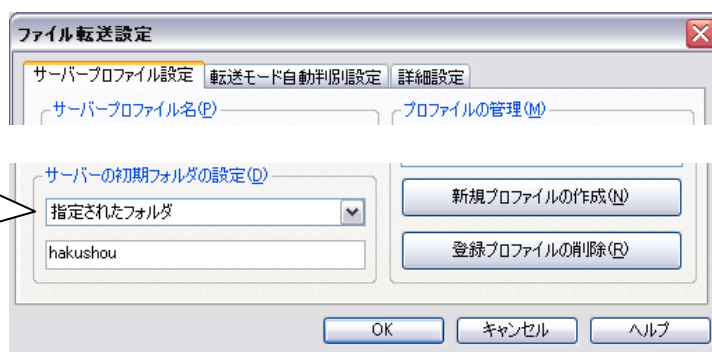
・1/10 より、インフルエンザ様疾患発生状況マップのデータ入力が始まっています。
前号でご紹介したように、支援システムのトップページのリンクからご覧いただけます。



学校のホームページについて

・各学校のホームページの更新に際して、「アップロードしたのに情報が更新されない」という現象が発生しましたら、以下の点をご確認下さい。

ホームページビルダーのファイル転送ツールの「ファイル転送設定」中の「サーバープロファイル設定」において、この欄が「指定されたフォルダ」、その下の欄が各学校のフォルダ名となっているかどうか確認願います。



上記の設定が正しく行われていないと、共用キャビネットにデータが送信されてしまい、他の利用者が目的のファイルを探しにくくなってしまいます。ご協力をお願いします。